

山形県野球連盟会長杯 第9回山形県ガールズ野球大会

実 施 要 項

1. 主 催 山形県野球連盟
2. 主 管 鶴岡地区野球連盟
3. 会 期 2026年10月10日（土）
4. 会 場 鶴岡ドリームスタジアム
5. 参 加 資 格 学童部に規定する小学生で編成されたクラブチームでなければならない。
6. 参加チーム 山形1，新庄1，米沢1，鶴岡1，酒田1 計5チーム
7. 適 用 規 則 2026年公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。
8. 試 合 方 法
 - (1) リンク方式とし、順位決定は勝ち点制とする（勝3点、引き分け1点、負け0点）。全試合5イニング60分とし、原則60分を経過した以降は新しいイニングに入らない。
 - (2) 得点差によるコールドゲームは、適用しない。
 - (3) 同点の場合は引き分けとし、勝ち点の多いチームを1位とする。
勝ち点が同じ場合は、得失点差で順位を決定する。
得失点差も同じ場合は、得点の多いチームを上位とする。
 - (4) 選手の健康管理に配慮し、下記のとおり特別ルールを設定する。
 - ①投球制限を適用し、投手の投球数は1日最大60球とする。
 - ②ホームベースは一般用サイズとする。
 - ③投手板からホームベースまでの距離を15mとする。
 - ④ボールカウントをワンボール・ワンストライクから始める。
 - ⑤盗塁は禁止とする（走者の離塁は認めるがエンドラン失敗等で次塁に進んだ場合は、元の塁に戻る）。
 - ⑥ワイルドピッチ・パスボールは、ホームベースからバックネットまでの学童区画線の距離12mを超えた場合に、テイクワンベースとする。
9. 使 用 球 全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号を使用する。
10. 参 加 申 込 参加申込みは試用期間（過渡期）のため、下記2つの申込みとする。
 - ①出場資格を得たチームは、所定の参加申込書を作成し、所属地区連盟を経由し、10月1日（木）までに必着するようメール送信にてエクセルデータを送ること。なお、会長印は不要とする。チームから直接送られた場合は正式申込みと認めません。
鶴岡地区野球連盟 事務局長 高橋 修也 tsuruokabaseball@gmail.com
 - ②代表チームは、山形県予選会代表チーム報告様式を作成し各地区野球連盟事務局に提出する。各地区野球連盟は内容を確認し県連事務局に提出する。各チームには、「野球ねっと」に登録している担当者あてに大会申込みの招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加の申込み申請を行うこと。申請後は、各地区野球連盟の承認および県連の承認を得て大会参加が完了となる。申込締切日は10月1日（木）とする。
11. 参 加 料 5,000円とする。今大会用として、試合球3個（9の大会使用球参照）を持参すること。試合球は、すべての試合後に返却する。
12. 組 合 わ せ この大会の組合せは、別紙のとおりである。
13. 監 督 会 議 行わない。
14. 開 始 式 行わない。

15. 引率責任者 各チームは必ず引率責任者（18歳以上とし、監督を兼ねてもよい）をつけなければならない。試合中はベンチの中に入ることができる。
服装は、スポーツ行事に相応しいものとする。

16. スポーツ安全傷害保険の加入について
スポーツ傷害保険の加入を義務付けることを特に徹底すること。
未加入チームは出場できないこととする。

17. 表 賞 第1位 賞状、優勝カップ（持ち回り）
第2位 賞状

☆全試合終了後、表彰式を実施しますので、全チームの参加をお願いします。

18. その他
- (1) ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番と、チーム代表者（引率責任者）、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。
チーム代表者、監督、コーチはいずれも18歳以上でなければならない。
 - (2) 熱中症対策として、保護者2名までベンチに入れることができる。
 - (3) 選手のユニフォームは同一でなくても良いが、必ず背番号（主将10番）を付けること。
 - (4) 打順表（登録された選手全員を記入したもの）は受付後すみやかに記入のうえ本部へ提出し、打順表の交換を第1試合は開始予定時刻の30分前とする。第2試合以降は前の試合の3回終了時とする。
監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。
 - (5) 参加申込書提出後の、選手の追加、変更及び背番号の変更は大会本部で承認を得ること。
 - (6) 用具及び装具は、公認野球規則で規定されているもののほか、連盟公認のものを使用しなければならない。
 - (7) 捕手用のマスク（スロートガード付）は、SGマークのついた連盟公認のものを使用しなければならない。2025年から義務付けされている。
 - (8) 捕手は、連盟公認のレガース・プロテクター、SGマークのついた捕手用ヘルメットを装着しなければならない。捕手のヘルメットは、マスクと一体になっている物の使用は禁止とする
 - (9) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークのついた連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。なお、打者、次打者、走者は両側にイヤーフラップのついたものとする。
 - (10) 金属、ハイコンバット（複合）は、JSBB公認のものに限る。安全面を考慮し、一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用はできない。
 - (11) 金属製金具のついたスパイクを使用することはできない。
 - (12) 本大会に参加する際、健康保険証等、これに準ずるものを持参する。
 - (13) ボールパーソン及びグラウンド整備は、各チームでお願いします。

◎雨天、グラウンドコンディション不良時は、大会を中止とする。